

(1)生徒の体力の現状

○2年生男子は、反復横跳びが県・全国平均を上回った。

○清掃時に体力づくりで1, 6km走っているが、毎回目標を持って取り組んでいる生徒も多い。(雨天時は体幹トレーニング)

○男子は、運動に積極的な姿勢で取り組む生徒が多い。

- 2年生は、男女とも、上体おこし・長座体前屈・立ち幅とびが県・全国平均より下回っている。
- 体力づくりで走っているが、持久走の結果が良くない。
- 女子は、文化部所属の生徒が多く、運動に対する意欲が低い。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

○体力づくりの実施は、他校にはない取組で、目標を持ちながら走っている生徒も多い。

○湖南学園として、3校共通の課題として体幹トレーニングについて話し合った。トレーニングの内容や時間、場所の確保などの問題はあるが、各校で実施しながら検討していく方針である。

○体力づくりの成果を試すロードレース大会では、男女とも1、2年生が上位に入った。

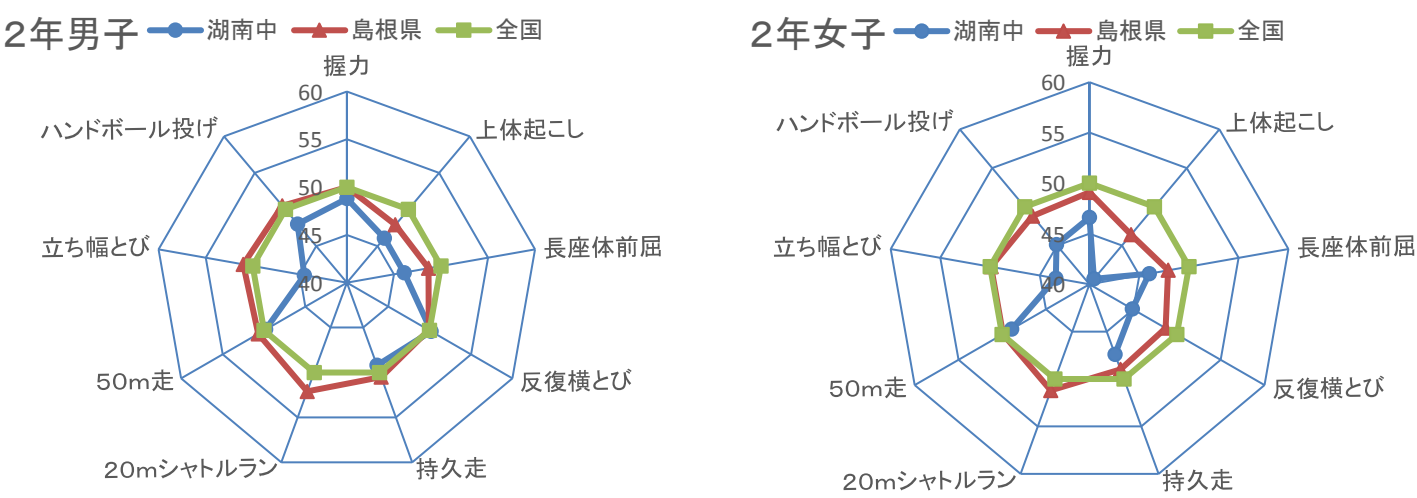
- 体力づくりについては、再考の時期である。毎回目標を持ち挑戦している生徒も多いが、やる気がなく適当に走る生徒、見学する生徒が増加傾向にある。
- 男女とも「運動が好き」と答えた割合は高いが、「体力向上の目標を立てている」は低くなっている。運動に対する意識や体力向上に最も適した年代であることを指導していきたい。
- 新体力テストの結果は、ほとんどの種目で県・全国平均を下回る結果であった。

(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・体育授業の改善・工夫(準備運動として実施しているランニング、ストレッチ、体幹トレーニングの見直し)
 - ・体力づくりの見直し(目標を持った取組など)
 - ・部活動との連携(冬季トレーニングなど)
 - ・昼休みの体育館や校庭の利用について(体育委員会の呼びかけ)
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・小中一貫教育として、小学校と連携し、共通(体幹トレーニング)した取組を実施していく。
 - ・校内ロードレース(競歩大会)の応援や役員依頼を保護者をお願いする。併せて、地域への広報。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・生徒会主催による生活保健集会の開催(今年度は朝食について)
 - ・メディアに関する講演会の実施。
 - ・小中一貫教育の取組として、家庭での食育や弁当づくりの実施。

調査実施者数(人) 1年(男子102・女子74) 2年(男子70・女子70) 3年(男子81・女子77)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

